

ジュゴン

分類：海牛目 ジュゴン科(哺乳類)
 学名：*Dugong dugong*
 英名：

奄美大島以南から東インド諸島、オーストラリアの南緯25度以北、アフリカ東岸、及紅海にかけて広く分布し、河口附近や沿岸の流れの少い入江や小さな湾の海草の繁茂したところに好んで生息し、沖合に出ることはない。体型は首が短く中央部が膨らみ紡錘形で、目は小さく瞬膜がある。尾鰭は鯨類と同じく水平で横に大きく広がり同目のマナティ(*Trichechus*属)の尾鰭は小さく丸味をおびているので識別は容易である。体色は背部が鉛色か灰色をおびた青色で腹部は白い。体表には細く短く僅かな剛毛が見られる。上下の両顎には角質の咀嚼板があって海草を食べるのに適している。一般に1対で生活しているが稀には小さな群れをつくることもある。妊娠期間は約11ヶ月で雌は良く仔の世話をし、仔を背負う事もあり、伝説上の人魚はジュゴンであるとの説が強い。体長2.5~3.0m 体重150~250kgに達する。



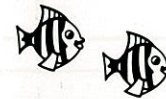
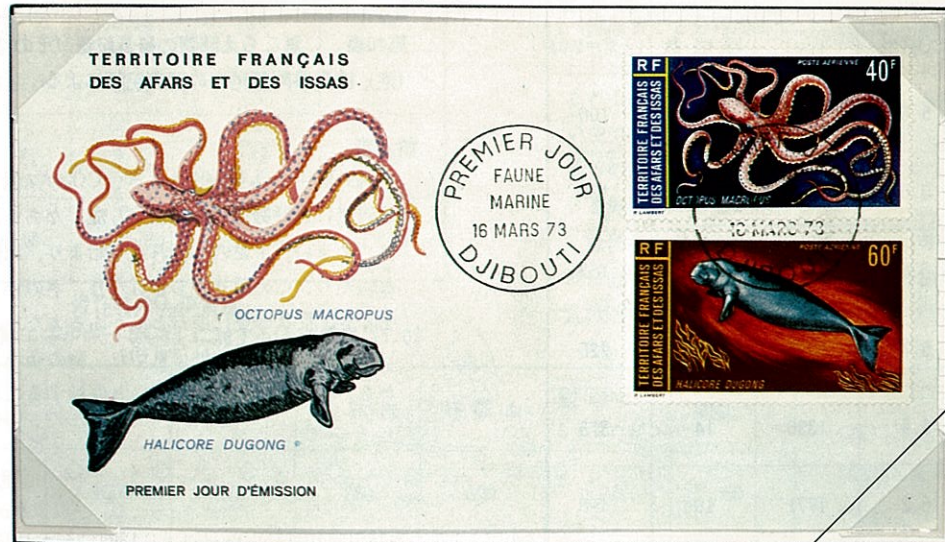
アフールイサ -1973-



沖 縄 -1966-



左端に同じ



マナティ

分類：海牛目 マナティ科(哺乳類)
 学名：*Trichechus senegalensis* アフリカマナティ
 英名：Manati

アメリカ、アフリカ両大陸の熱帯、亜熱帯地帯の河川及珊瑚礁の礁湖に生息する。肉や脂肪が上質美味のため乱獲され絶滅の危機に頻している。体型は紡錘形で尾鰭は大きくしゃもじ状の長円形、鼻孔はみつち状で口唇の頂上に上向きについている。眼は小さく視力も弱い。前脚はオール状で漕ぐように泳ぐ。餌料は草食でイネ科のもの、マングローブの葉を好む。日中は水域の中央部の水底で数頭の群と共に昼寝。夕方になると水草のあるところへ移動して一晩中捕食する。アメリカマナティ*T. manatus*は出産時体長1m 体重20kgで成獣では体長3.3m 体重450kgに達する。日本では現在5頭飼育中。南アメリカ産のアマゾンマナティ*T. inunguis*はアマゾン河流域に分布する。



カメルーン -1962-



コスタリカ -1963-



カメルーン -1962-



ニジェール -1962-



コートジボアール -1964-



左端に同じ